

校章案デザイナー一覧

①



DESCRIPTION /

つくば市の花「ホシザキユキノシタ」をモチーフとしたデザイン案になります。

天然記念物にも指定されている筑波山の上に生育する貴重な花を起用することで、児童各々が「個性を尊重し、成長する」という想いを込めています。

<各オブジェクトの意味・想い>

花の図案： 通常のユキノシタは下側の花びらが長いのに対して、ホシザキユキノシタは星形に咲くため、その花びらの特徴を図案化しています。

文字： 児童や保護者さまの案でも多く起用されていた、香取台の「香」の字を採用しました。「かおり、かんばしい、かぐわしい」という意味などから、字の印象も良く花のとの親和性も高いです。

②



DESCRIPTION /

本校の特長「交流の機会が豊富な学校」「児童と地域の方が出会い・交流が生まれる学校」をテーマとしたデザイン案になります。

コミュニケーションを目的とした「各種スペース」「コミュニティ棟」など、校舎全体の設計思想（ゾーニング）を校章にも込めています。

上記「Information Tags」にございますように、デザインのベースを校舎内外のサイン等にも流用することで、ブランディング思考を意識した一歩踏み込んだご提案になります。

<各オブジェクトの意味・想い>

上下左右に伸びる形状（ベース）： 人をモチーフとしたコミュニケーションの広がりをイメージしております。

文字： 児童や保護者さまの案でも多く起用されていた、「香小」を採用しました。香という印象の良い文字と、小学校であることを意味する「小」との組み合わせにより、視覚的にもイメージが付きやすいと判断しました。



DESCRIPTION /

EXPO' 85 のロゴデザインで採用されていた三角形をオマージュし、全体を「香取神社のけやき」の木に見立てた、「成長」をテーマとしたデザイン案になります。

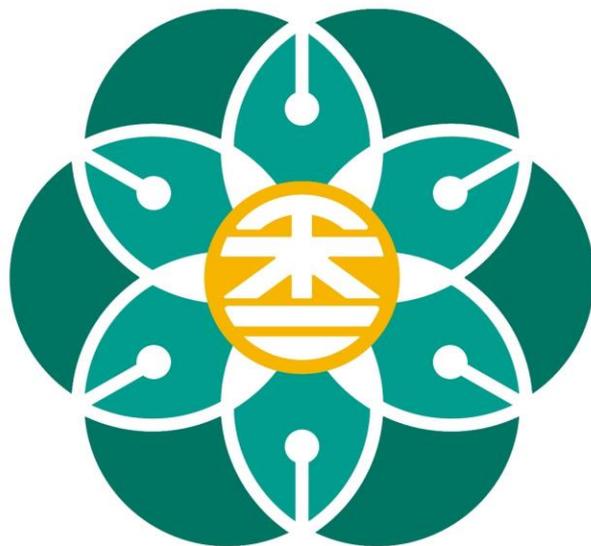
つくば博覧のテーマである「人間・居住・環境」を、三角の三辺で示した思想をとり入れ、地域住民が一体となった新しい学校環境において、「児童の成長や巣立ちを見守る」という想いを込めています。

<各オブジェクトの意味・想い>

三角形（ベース）： EXPO' 85 のロゴデザインでも採用されていた三角形で、「児童・地域住民・学校環境」を表現しています。

若葉、けやき： 児童や保護者さまの案でも多く起用されていた「けやきの木」をモチーフとしました。芽が出てやがて大きな大木となるように、児童の個性や才能が学校生活を通して成長して行く様を表現しています。

文字： 旧来の校章デザインを払拭し、学校教育におけるグローバル化も意識したアルファベット文字の構成としました。



シンプルな円の組み合わせによって、香取台地区を象徴する存在である香取神社の大樹と、学問を象徴するペンを表現しています。
また、ペンのモチーフを花のように円形に配置することで「学問によって花開く未来」を表現しています。中心にあるマークのようなものは「香」の文字を図案化したものです。



「KATORIDAI」の「K」を大樹の幹と枝の部分に見立て、樹冠部分ではのびのびと元気に学ぶ子供たちの様子をシンプルな表現で表しました。
香取台地区を象徴する香取神社の大樹から着想したデザインです。



香取台の「香」を単純化し、エンブレムのフォルムで表現しました。上部の「禾」部分は木を表し、下部の「日」部分は大地を表しています。
香取神社に繁茂する大樹のように香取台地区の子供たちが成長してほしいという願いをこめています。



「KATORIDAI」の「K」、学問を表す「羽ペン」、つくば市を象徴する「筑波山」をエンブレム化しました。